

# 学校関係者評価報告書 (平成29年度)

学校法人国際総合学園  
国際こども・福祉カレッジ

## 目次（評価項目一覧）

### 1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

### 2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

### 3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか

- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

#### 4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

#### 5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

#### 6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

#### 7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

#### 8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

## 9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

## 10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

## 1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 現状

### 建学の精神

我が国は、世界に例を見ない速さで高齢者人口が増加しています。また、それに伴い寝たきり等の要介護高齢者の急増が確実視されています。その一方で、家庭における介護機能の低下も見られ、今後の要介護高齢者対策としては、在宅介護・施設介護を通して、高齢者が可能な限り自立した生活を送れるよう支援していく以外にはありません。

昨今、我が国においてもノーマライゼーションの思想が定着し、福祉施設や医療機関においては、与えられるサービスから自身が望むサービスを受けるために選ばれる施設としてのあり方が問われています。

このような状況を背景に、法律をはじめ各種制度・政策が毎年のように策定され、高齢化社会・福祉社会への一層の充実を図ろうとする動きが活発化しています。また、介護保険が導入されたことにより高齢者ケアを中心に、保健・医療・福祉の連携システムとしての役割を発揮することが期待されています。

一方、少子化対策等も注目されています。未来への大きな可能性をもったこどもを守り、育てていくことは、国家はもとより、社会全体の義務といえるでしょう。また、子育て支援においても、より充実した環境やサービスが求められてきております。

しかし、いずれにしてもこれを実現させるものはマンパワー以外のなにものでもありません。

以上のような状況を踏まえて、本校の学校運営理念を次のように定めます。

### 《学校運営理念》

本校は少子高齢化を迎えた日本に、「まごころ」が通い合う、やさしく・安心できる地域社会の構築を目指し、『愛情・感謝・協調』を学校の校訓として、「福祉の理念」を兼ね備えたこども教育と福祉の人財を養成する教育機関である。その責任において、常に変化する社会情勢の中で求められる専門知識・技術を修得し、時代をリードできる人財、また、豊かな人間性を持った人財の育成を目指し、新潟から全国、更には国際社会において活躍できる「こども教育と福祉のスペシャリスト」を養成する。

## 《学校運営方針》

### 【専門知識・技術の修得】

一般常識・知識を基礎とし、専門職者としてプライドのある仕事ができる、社会人として責任を持って仕事ができる、常に業界の最先端を意識した人財の育成を行う。そのために学習環境の整備に努め、教職員（非常勤を含む）自身が常に学ぶ姿勢を持ち自己研鑽に努め、授業実施・指導を行なっていく。

### 【豊かな人間性の向上・まごころの育成】

基本的な挨拶やマナー、思いやり、協調性、向上心、前に進もうとする力、そして希望する専門職への適性を日々の学校生活から身に付けることができる。そのために教職員が、学生一人一人の個性を理解し、学生と向き合った支援と指導を行なっていく。また、保護者の協力体制のもと、学生、教職員共に学校運営理念を理解し、日々・半期・年間の目標達成に向け努力し、達成する喜び及び挑戦し続ける意欲を共有する。

### 【地域に密着する学校・世界に通用する学校づくりを目指す】

積極的な地域福祉活動に参加することで、郷土愛を持ち地域の活性化に貢献できる人財の育成を目指す。また、世界に通用する専門職者を育成するため、国際交流や教育連携を積極的に推進し、存在感ある学校づくりを目指す。また、福祉・こども教育の未来を見据えたアンテナを張り、常に時代をリードする教育内容を提供する。

### (3) 課題と改善策

保護者会出席率を上げるために開催時間を遅らせる等の工夫を行ったが、保護者の方の居住地や仕事の都合などもあり出席率は横ばいであった。保護者会出席以外のコミュニケーション手段の充実も検討していきたい。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

保護者対象の講演会等の企画があっても良いと思う。保護者会以外のコミュニケーション手段となるほか、実際の授業の様子などを体感できることも保護者からは喜ばれるのではないかと。講演会でなくても認知症サポーター養成講座等、すでに学校で実施しているメニューを保護者向けに実施してみるのも一つの方法と考える。

## 2. 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### (2) 現状

- ① 運営方針は毎年作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- ② 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- ③ 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- ④ 校内においては職員会を開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- ⑤ 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- ⑥ 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- ⑦ 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

### (3) 課題と改善策

各校舎のスケジュールの違いなどから全体職員会の日程調整に難があったため、次年度からはあらかじめ開催日を決める等の改善を図っていく。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

定年や異動以外での教職員の退職が減ってきている状況について、教職員が長く勤められることは、経験やスキルの蓄積等からも在校生・卒業生にとって有益と考えられる。今後も労務管理を怠らず、職場環境を維持してほしい。

また、現在も YouTube を利用した教育活動の紹介などをホームページで行っているが、今後さらに SNS も利用した学校 PR 活動を進めると良い。

### 3. 教育活動

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

#### (2) 現状

- ① 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、教育課程編成委員会での意見や決定事項を反映しながら、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- ② 実践的な職業教育として、実習施設と連携した実習を行っている。
- ③ 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- ④ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生・保護者に周知されている。
- ⑤ 厚生労働大臣指定の養成施設としてのカリキュラムに加え、人間力を高めるための独自科目である『実践行動学』を取り入れ専門職としての総合的な実践力を持てるよう支援している。
- ⑥ 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。



### (3) 課題と改善策

教職員の専門性や指導力向上のため計画的な研修参加に取り組んでいるが、留学生の受け入れや発達障害等に関する知識など専門学校に対するニーズや教職員に求められるスキルが多様化しているため、参加すべき研修やセミナーも多岐にわたる。日常業務との兼ね合いから、参加できる研修には限りもあるため、その優先順位の確認と研修後の情報共有を強化していく必要がある。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

学校における教育活動自体は問題なく行われている。留学生等、受入れ対象者の広がりに対応するために年間を通して研修や勉強会への参加も積極的だ。

現在、厚生労働省による介護福祉士養成施設のカリキュラム見直しが始まっている。認知症ケアやチームマネジメントなどの充実が図られる見通しだ。今後も地域から必要とされる専門学校として、新カリキュラム導入に向けた検討を早めに進めて、時代のニーズに合った教育活動を推進してほしい。

## 4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

### (2) 現状

- ① 就職部長・就職相談室長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- ② キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- ③ 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については、月例の学科会議・管理職部門で行っている運営会議で情報共有される。また、クラスごとに担任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、支援をきめ細かく行うと共に必要に応じて保護者との連携・個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。

平成 28 年度の退学率 3.3%に対して平成 29 年度は 3.2%と改善した。

- ④ 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では各クラスより2名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。

(3) 課題と改善策

卒業生の状況は、施設への実習巡回や施設の機関誌、ホームページ等で散見するほか、学校に直接顔を出してくれることも多い。今後新たなコミュニケーションツールとして卒業生向けの校友会 LINE の開設を検討中である。

(4) 学校関係者評価委員会による評価

就職率、資格取得率、退学率、いずれも良好といえる。特に国家試験の合格率に関しては、例年通り新潟県内でも上位、次年度は全員合格を果たしてほしい。

## 5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### (2) 現状

- ① 進路・就職相談について、就職相談室長が中心となり、本人の希望や事業所とのマッチング等に配慮しながら個別支援を行っている。
- ② 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、精神的な問題を抱える学生相談に対する体制を整備している。
- ③ 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- ④ 課外活動については、一定の基準を満たした活動団体について、学校認定クラブ活動とし、活動費の補助等の支援を行っている。
- ⑤ 年2回保護者会を開催している。希望者にはクラス担任との個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。
- ⑥ 卒業生に対しては、随時、就職活動の相談に応じたり、情報交換を行っている。
- ⑦ 試験的に高校への出前授業を実施し、福祉業界の啓蒙活動の方法を模索。

### (3) 課題と改善策

介護福祉学科から2名のベトナム人留学生が卒業、介護現場に就職した。留学生を受け入れ、授業や日常生活、在留資格更新手続き等の公的手続きの支援を行ってきた。日本の介護人材不足解消の一つの手立てとして今後も注目をされていく外国人介護福祉士。今年度は留学生受け入れのノウハウを獲得することができたが、日本語能力向上や実習指導、国家試験対策などの質を上げていくために関係機関等との連携を更に深めていきたい。

#### (4) 学校関係者評価委員会による評価

日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度や新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度の利用について、平成 29 年度の利用者 4 名からは家族や教職員以外の人に聴いてもらえることによる安心感の獲得があったとのこと。今後も課題を抱えた学生に対し、担任など教職員によるサポートとともに有効な手段となり得る。

また、介護福祉士を目指す外国人留学生の受け入れ、育成は今後も増えていくと考えられるため、日本語教育については日本語教育専門の教員や学校と連携していくこともやり方の一つではないか。

## 6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

### (2) 現状

- ① 各養成施設としての指定に伴う教育設備及び教育備品の整備を行っている。
- ② 法人が所有する研修施設を活用した宿泊研修を実施している。
- ③ 福祉人材・こども教育者として防災意識を高めるため、年1回の火災・災害避難訓練を実施している。
- ④ 在校生全員分のエマージェンシーキット（防災キット）を各校舎に設置している。

### (3) 課題と改善策

法人所有の研修施設における宿泊研修では、各学科や学年において特徴のあるプログラムを実施し、教育的効果を上げており、学生満足度も高い。現在、TDR研修と海外研修の意義を見直し、より時代のニーズに合った研修形態を検討している。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

防災訓練に関しては毎年定期的に継続実施され、学生や教職員の防災意識の向上に役立っている。また、避難訓練直後に東日本大震災関連のビデオを20分間程度視聴する取り組みも評価できる。

## 7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### (2) 現状

- ① 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、月1～4回の頻度でオープンキャンパス・学校説明会・個別相談会を開催し、専門分野の説明や授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。
- ② 高校ガイダンス、会場ガイダンス、高校訪問、大学訪問など、直接伺い、学校や保育・福祉業界の啓蒙及び学生募集活動を行っている。
- ③ 卒業生の進路状況や就職実績状況、また検定資格取得実績等の教育成果を、学校パンフレットや資料を配布すると共に Web サイトへの掲載によって公開されている。

### (3) 課題と改善策

特になし。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

良好である。

## 8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### (2) 現状

- ① 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。
- ② 特記事項  
学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

### (3) 課題と改善策

特になし。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

良好である。

## 9. 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### (2) 現状

- ① 各養成課程としての法令の遵守はもちろん、専門学校設置基準における法令の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- ② 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- ③ 学生・保護者・教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- ④ 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

### (3) 課題と改善策

特になし。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

良好である。



## 10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4

### (2) 現状

- ① 地域の中学校の総合学習を受け入れ、積極的に福祉教育の支援を行っている。
- ② 自治会活動への協力、地元の祭り・イベント等協力していると共に災害時における臨時津波避難所としての協定を結ぶなど、地域に密着した学校づくりを目指している。町内会と共同での津波避難訓練を実施。
- ③ 学生・教職員共に様々なボランティア活動を積極的に推進している。
- ④ 介護福祉士実務者研修（通信課程）を教育訓練給付金対象講座として実施している。
- ⑤ 新潟県立新潟テクノスクールより職業訓練を受託し、介護系及び保育系の学科で訓練受講者を受け入れている。

### (3) 課題と改善策

特になし。

### (4) 学校関係者評価委員会による評価

災害時の臨時津波避難所として協定を結んでいる古町通2番町町内会との合同避難訓練が、平成29年度は校舎改築工事などの影響もあり実施できなかった。次年度は合同避難訓練の実施を再開して、学生・教職員のみならず地域住民の防災意識向上にも更なる貢献をしていただきたい。